

1 治療方針(弁証論治)

「更年期症候群」に対して中国伝統医学では「腎陰虚」、「腎陽虚」、「心脾両虚」、「肝気鬱血」の弁証を、「滋陰補腎」、「温腎壯陽」、「寧心安神」、「調理脾胃」、「疏肝理気」の論治を考えている

2 選穴

基本穴として中極、次髎、気海、百会、腎兪から選ぶ
各「証」に対応する穴を加味する

・腎陰虚

太溪を加えて補法を施す。心腎不交の場合、更に少府、大陵を加えて平補平瀉を施す。肝腎陰虚や肝陽偏亢の場合、肝兪、三陰交を加えて補法を、太衝、風池を加えて平補平瀉を施す

・腎陽虚

命門、関元を加えて補法を施す。脾陽虚の場合、脾兪、足三里を加えて補法を施す

・心脾両虚

心兪、神門、脾兪、足三里を加えて補法を施す

・肝気鬱血

期門、太衝、陽陵泉を加えて瀉法を施す。肝鬱化火の場合、大敦を加えて点刺する。便秘の場合、上巨虚、大腸兪、支溝を加えて瀉法を施す

いずれも個人の体質、症状に対応する穴を加味する